

<フランスのニューカレドニア植民地化 170 年の歴史>

- 1853 フランスの領有/植民地宣言 (9 月 24 日)
- 1854 流刑植民地==>パリ・コミューン政治犯流刑開始(-1922 年まで, 2.2 万人)
- 1863 ニッケル発見
- 1864 アラブ系捕虜の流刑開始(1897 年までに約 2000 人)
- 1865 奴隷的人身売買 (ブラックバーディング) 開始
- 1871 アルジェリア蜂起 Mokrani の反乱、パリ・コミューン
- 1872 ルイーズら、パリ・コミューン政治犯のニューカレドニア流刑
- 1873 ニッケル鉱山開発開始
- 1876 カナク保護区設定 1878 カナク大蜂起 (アタイの反乱) 1887 カナク身分制度導入
- 1892 ニッケル鉱山開発のための日本人契約移民 (600 名が渡航し、1919 年までに 5000 人に達する)
- 1918 ニューカレドニア人口、最低水準の 2.7 千人に落ち込む
- 1922 流刑地閉鎖
- 1926 コーチシナからの労働移民
- 1958 フランス海外領土編入
- 1965 メラネシア社会主義/スティーブンスの反植民地運動
- 1969 カナク解放闘争
- 1977 カナク民族政党登場
- 1979 ユニオン・カレドニアン (社会主義政党) 幹部にチバウ就任
- 1981 ミッテラン仏大統領就任 (脱植民地化推進公約)
- 1984 ヤンゲンの大虐殺
- 1985 南太平洋非核地帯条約採択
- 1986 国連非自治地域リスト登録
- 1988 ウヴェア暴動→マティニョン合意
- 1989 チバウ暗殺
- 1998 ヌメア協定締結
- 2000 南太平洋フォーラムが太平洋諸島フォーラムに名称変更
- 2016 太平洋諸島フォーラムにフランス領として公式加盟
- 2023 マクロン大統領、ヌメア協定破棄表明